

## 平成30年11月27日 会頭記者会見 発言要旨

### 時事の話題

#### ■大阪への万博誘致結果について

2025年の万博開催地が大阪に決定したことを大変嬉しく思っている。地震や台風、猛暑など多くの災害に見舞われた関西に、未来への希望と元気を与える今年一番の吉報となった。政府や大阪府、大阪市、経済界を挙げて誘致に取り組んできた成果が実を結び、開催地の決定を勝ち取ることができたことを心より歓迎したい。今回の誘致活動を通じて、日本の特徴である安心・安全な街やおもてなしの精神などが、海外から高い評価を得ていることを改めて実感した。最後まで粘り強く支持集めの活動を重ねてこられた、誘致委員会の榊原会長をはじめ関係者のご努力と熱意に敬意を表したい。

万博は単なる一過性のイベントではなく、世界各国の伝統や文化、科学技術などが一堂に集まり、人間社会の未来について考える重要な場となるものだ。テーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」のもとで、環境破壊や食糧問題、貧困など、グローバルな社会課題を解決するためのアプローチを、世界中から集まった知恵を活かして考えるきっかけにしてもらいたい。それに万博会場でしか味わうことのできないようなエンターテインメント性を加え、世界に向けて関西の魅力を発信していくことが重要だ。

誘致が実現した矢先だが、2025年の開催に向けてこれからは本番となる。万博が関西経済の発展に向けた起爆剤となり、これからの社会を担う若い世代に多くの気付きをもたらすきっかけになることを期待している。京都経済界としても、開催に向けた協力、支援について協議を進めていきたい。特に、2021年までに京都へ移転する文化庁とも連携し、日本文化の中核である京都が文化・観光都市としてしっかりとおもてなしを提供できるよう協力していきたい。また、京都には文化だけでなく、iPS細胞研究や創薬などのライフサイエンス分野に関する企業の集積も進んでおり、京都のまち全体で万博開催を支援していけるような体制を築いていきたい。

### 京都商工会議所の動き

#### ■京商ビル閉館記念イベントについて

現在の京商ビルは昭和39年12月に竣工し、以来55年にわたって京都経済の発展を支える拠点となってきたが、京都経済センターへ移転に伴い来年3月で閉館する。そこで、12月12日から15日にかけて、京商ビルの閉館記念イベントとして次の4つの事業を実施する。

ひとつは、「明治150年 京商のキセキ展」と題して、明治期から現在に至るまでの京都経済の歴史をパネル展示で振り返る展示会を開催する。現在の京都の発展を支える基盤を築いてきた先人たちの足跡を、多くの方に知っていただく機会にしたい。

また、55年の歴史に幕を閉じることとなる京商ビルを隅々までご覧いただくため、「京商ビル探訪ツアー」を実施する。歴代会頭が執務室として利用してきた会頭室や、来賓接遇のための特別応接室など、普段はご覧いただけないような部屋も特別に公開する。京都の伝統産業の粋を集めて作られた什器や内装などを、この機会にぜひご覧いただきたい。

さらに、テレビ番組にも出演し、多方面ご活躍されている河合敦さんを講師に招き、「京都の歴史 知られざる舞台裏」と題した記念講演を開催する。京都で暮らしていてもなかなか知らないような歴史や裏話などを、わかりやすく、そして楽しくひも解いてお話しいただく。

このほか、事務用品や過去の事業で作成した記念品などを販売する「京商チャリティー掘り出し市」を開催する。200点以上の商品を用意し、格安での販売を予定している。売上はすべて福祉団体に寄付する。

本イベントは会員、非会員を問わずどなたでもご参加いただけるようにしている。ぜひとも多くの方にお越しいただき、京商と京都経済の歩みを知っていただくとともに、京商を支えていただいている多くの方への感謝をお伝えできるようなイベントにしたい。

## ■2018年を振り返って

今年は大阪北部地震や西日本豪雨、相次ぐ大型台風など、複数の大きな災害に見舞われ、京都でも観光地への被害や閑空のマヒによる訪日客の減少などの影響が出た。しかし、多くは既に復旧し、海外からの観光客も戻ってきており、京都の文化や伝統が「京都ブランド」として、多くの人々や企業を引き付ける魅力となっていることを改めて実感している。

毎年、京都内外の多くの方々に受験いただいている京都検定では、来月実施する第15回の申込者が8,421名と、前年を上回った。これで9年連続の増加であり、奥深い歴史や文化、さらには多様な産業に至るまで、京都のあらゆる面に注目が集まっている結果だと考えている。引き続き、京都のまちな魅力を高めるとともに、対外的な発信についても積極的に取り組んでいきたい。

そして、京都経済センターのグランドオープンが来年3月16日と決定したことが、最も大きなトピックとなった。先日発表した通り、京都経済センターの運営法人となる「一般社団法人京都知恵産業創造の森」は、私が理事長に就任することとなった。京都経済センターでは、若手起業家や研究者、クリエイターなどが集い、互いに知恵を出し合うことで、複雑化する社会的な課題を解決に導くようなベンチャーの創出や、持続的な社会を支える多様な人材や産業群を育成する場となることを目指している。京都経済センターから生まれる新たな知恵ビジネスが、知恵産業の森の木々となるよう、京都経済百年の計として、未来に投資する事業を展開していきたいと考えている。

来年は、京商ビジョンNEXTの総仕上げと京都経済センターのオープンを迎える重要な年だ。京都経済センターを拠点として、2021年までに実現する文化庁の京都移転や大阪万博を見据えながら、平成の次となる新たな時代へ向けて、充実した1年にしていきたい。

## 記者からの質問事項

### ■大阪万博について、京都経済界としても開催費用を負担する用意はあるか。

費用面については、現時点では全くの白紙だ。ただ、京都も関西の一員として、応分の負担をすることも必要ではないかと考えている。具体的なことについては、今後関係者間でしっかりと協議して決めていきたい。

**■人手不足への対策として入管法改正による外国人労働者の受け入れが議論されているが、どのようにお考えか。**

企業の人手不足は深刻であり、対策は待ったなしの状況だ。日本商工会議所でも技能のある外国人材の活用と受け入れについて要望を重ねており、人手不足解消に向けたひとつの手段として今回の議論が前向きに進むことを期待したい。

ただ、低賃金や過酷な労働環境など、制度の悪用によって外国人実習生に対する労働搾取が一部で行われている実態があり、これを解決していくことも同時に進めていかなければならない。技能に優れる多くの外国人材が、日本での生活において日本人と同程度の生活の質を確保できるような条件で働ける環境を整備することが必要だ。

一方で、インバウンドの増加により、日常生活の上では以前よりも外国人と対面する機会自体は増えたものの、企業の戦力として外国人材を受け入れる体制が十分に整っている中小企業はまだまだ少ない。外国人材を有効に活用するためには、言葉や生活習慣、文化、宗教など、企業側の受け入れ対策や事前の準備が必要だ。特に語学面での対応が最も大変ではないか。

また、労働者だけでなくその家族も含めて受け入れることが求められ、学校での語学対応可能な教員の確保や、自治会や町内会等の地域社会の受け入れ体制など、生活環境全般におけるインフラをしっかりと整備しなければならない。今回の議論では、外国人の増加による社会的な影響よりも、喫緊の課題である人手不足への対応を優先した格好だが、外国人と日本人との間で軋轢を生まないような万全の準備が必要だ。企業だけでなく行政も一体となり、多様性を受け入れるような社会を築いていくことが求められる。

**■主要企業の中間決算は概ね好調だったようだが、米中の貿易摩擦や原油高等も踏まえて通期での見通しをお聞きしたい。**

今夏は記録的な猛暑となり、また大阪や北海道での地震、相次ぐ台風や豪雨など、多くの災害が発生した。この影響を受けて7~9月期のGDPはマイナス成長となったが、こうした災害による影響は一時的なものであり、引き続き好調な世界経済や円安の影響を受け、今期前半としては多くの企業で好調な業績となったようだ。

一方で、長期の見通しでは、これまでよりも景気減速のリスクが高まっていると見ている。対外的な要因としては、米中貿易摩擦の激化による世界経済の鈍化や、米国の保護主義の拡大、原油や原材料の高騰などが懸念される。また国内要因では、企業の人手不足の深刻化により、好調な景気の腰を折りがねない。来年10月には消費増税も控えており、徐々に回復の兆しが見えていた消費マインドを押し下げることにならないよう、政府にはしっかりと景気対策を実行してもらいたい。

直近では、オフィスや工場のオートメーション化等に関する設備投資は好調だが、スマートフォンなどのコンシューマー向けITデバイスや家電などに陰りが見えているように感じている。これらは京都企業の得意とする分野であるだけに、影響を受けるところが多く、下期は弱含みで推移するのではないかと見ている。

以上

## 定例会頭記者会見



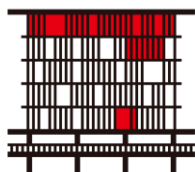
日時：平成 30 年 11 月 27 日(火) 15 : 00～15 : 30

会場：京都商工会議所 3階 第3会議室

1. 京商ビル閉館記念イベントについて . . . 資料①
2. 「京都検定」受験申込者数について . . . 資料②

以 上

次代へ動く。  
京都商工会議所、  
四条室町に誕生。



京都商工会議所  
**2019.3.5**  
**移** >>>> **転**  
京都経済センター7F



130年の感謝を込めて京都商工会議所ビルを大開放!

入場無料  
ご予約不要

## 会員感謝デー 京商ビル閉館記念イベント 12月12日(水)~15日(土)

どなたでも  
ご参加いただけます!  
※15日開催の「記念講演」は  
事前お申込みが必要です

## 記念講演

### 「世界一受けたい授業」でおなじみ!歴史のエキスパートが特別講義 『京都の歴史 知られざる舞台裏』

講師: 河合 敦 氏 歴史作家、多摩大学客員教授、早稲田大学非常勤講師

高校歴史教師歴27年!「世界一受けたい授業」でおなじみの河合先生に、新発見や研究によって進化する“京都の歴史”を、詳しく楽しく紐解いていただきます。

#### 講師ご紹介



#### 【プロフィール】

東京都出身。青山学院大学卒。早稲田大学大学院博士課程単位取得満期退学(日本史専攻)。高等学校教諭などの豊富な経験のもとに、執筆や講演活動のほか、「世界一受けたい授業」などテレビ出演も多数。第17回郷土史研究賞優秀賞、第6回NTTトーク大賞優秀賞を受賞。2018年雑学文庫大賞受賞(啓文堂主催)。近著は『大久保利通 西郷どんを雇った男』『異説で読み解く明治維新』、初の歴史小説『窮鼠の一矢』等がある。

#### 概要

【日時】 12月15日(土)15:15~17:00  
【会場】 本所3階 講堂  
【定員】 300人(先着順)  
【問合せ】 会員部(梅影・永田) TEL 075-212-6413  
お申込みはこちらのQRコードから



## 会議所ビル探訪ツアー

### 会頭室や特別応接室など、普段は公開していない本所ビル内を一挙公開!

武田五一設計の先代・商工会議所ビルから移築された大理石の柱や暖炉、京都の伝統産業の粋を集めた什器や内装など、レトロモダンな雰囲気が見どころの京都商工会議所ビル。会頭室や特別応接室など、普段はご覧いただけない部屋も公開します!ぜひともご覧ください。

#### 概要

【日時】 12月12日(水)~14日(金)  
10:00~16:00  
15日(土)10:00~18:00  
※開催時間中は会場内を自由にご覧いただけますので、ご都合の良い時間にお越しください。  
【会場】 本所1、3階



3階 会頭室



3階 議員クラブ



1階 中庭

次ページで本所ビルの歴史と見所をご紹介します!

#### イベントスケジュール一覧

イベント	会場	12日(水)	13日(木)	14日(金)	15日(土)
キセキ展	3階 役員室、会頭室	10:00-16:00	10:00-16:00	10:00-16:00	10:00-18:00
掘り出し市	5階 特設会場	—	—	—	10:00-16:00
記念講演	3階 講堂	—	—	—	15:15-17:00
探訪ツアー	1、3階	10:00-16:00	10:00-16:00	10:00-16:00	10:00-18:00

閉館記念イベントに関するお問い合わせ 総務部 075-212-6400 kyoto@kyo.or.jp

## 明治150年京商のキセキ展



### 明治期から現在に至るまでの京都経済の動きを一挙にパネル展示!

150年前、明治の幕開けとともに京都の近代化が進められました。明治15年に経済人たちが設立した京都商工会議所は、京都経済の核として、時代時代に必要とされる役割を担い続けています。本展では京都経済と京都商工会議所が歩んできた軌跡をパネル展示で振り返ります。

#### 主な展示内容 ※変更になる場合があります。

- ・京都商工会議所の設立
- ・平安遷都1100年と内国勲業博覧会
- ・太平洋戦争と経済統制
- ・平安建都1200年
- ・知恵産業のまち・京都の推進
- ・琵琶湖疏水の建設
- ・第一次世界大戦と企業の変貌
- ・高度経済成長とライフスタイルの変化
- ・情報化の進展と産業構造の変化
- ・歴代会頭を一挙紹介 ほか

#### 概要

【日時】 12月12日(水)~14日(金)  
10:00~16:00  
15日(土)10:00~18:00  
【会場】 本所3階 役員室、会頭室



京商設立に関する資料(複製)



初代会長 高木文平



琵琶湖疏水 インクライン  
(京都府立京都学・歴史館  
京の記憶アーカイブより)



平安建都1200年記念事業  
(平安建都1200年記念事業史より)

## 京商チャリティー掘り出し市

### 移転にともない、事務用品や記念品など200点以上を特別価格で大放出!

事務用品の定番ハードカバーファイルや置時計、漆器のぐい呑など掘り出し物を多数ご用意。平安建都1200年公式グッズや、大阪万博(EXPO'70)のペーパーウェイトなどレアなお宝が見つかるかも!?

#### 販売品(一部)

各種記念品、本所ノベルティ、レターケース、壁掛けホワイトボード、壁掛け時計などの小物什器、各種ファイル、ブックエンド、パンチなどの事務用品

#### イチオシ商品

平安建都1200年公式グッズ「ヒロヤマガタ アートポスター」 1,000円  
中国製漆器 1,000円  
事務用ハードカバーファイル 100円~  
その他多数の商品をご用意してお待ちしております!  
※売上金はすべて福祉団体に寄付いたします。

#### 概要

【日時】 12月15日(土)10:00~16:00  
※商品がなくなり次第、終了します。  
【会場】 本所5階 特設会場





## 京都商工会議所ビルの変遷を辿る

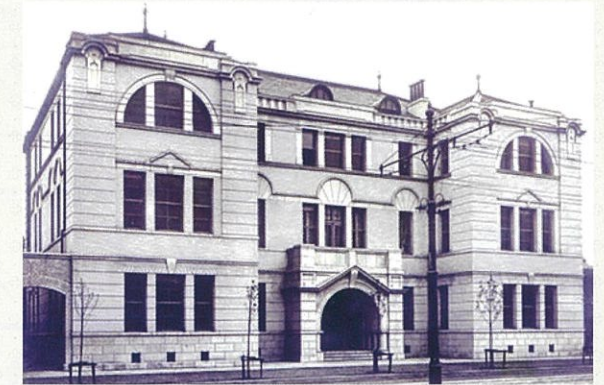
### <明治期の初代社屋>

京都商工会議所は、明治15年10月9日に河原町三条上ルで設立され、3年後の明治18年には烏丸夷川上ルへ移転。同所にあった建物を改築して事務所を設けた。



### <大正3年竣工の二代目ビル>

ビル新築の計画が持ち上がるも、不況や金融恐慌などにより頓挫していたが、大正3年に完成。設計は「関西建築界の父」と言われる武田五一氏によるもの。



大理石を使用した近代建築の二代目ビル

### <昭和39年竣工の三代目ビル>



地下1階地上6階建の三代目ビル。手前に見えるのは本所創立130周年記念の植樹

### そして“京都経済百年の計”となる 京都経済センターへ…

2019年3月5日より、京都商工会議所は京都経済センター（四条室町）にて新たな一歩を踏み出します。



来春にオープンする京都経済センター（模型）

## 三代目ビル 建設秘話

昭和の時代になると、会議所事業の拡大にともない二代目ビルが手狭となり、建て替えが議論されるようになったが、その道は平坦ではなかった。昭和10年には建て替えの構想が生まれていたが、昭和12年に支那事変が、ついで太平洋戦争が勃発。戦中の物資不足により、ビルの建て替えどころではなくなった。終戦後も、景気過熱を抑制する建築制限が行われたことで、しばらくは建て替えに着手できなかった。

時代に翻弄された京商ビルの建て替えが決定したのは、昭和35年。構想が生まれてから四半世紀後のことであった。そして、東京オリンピックに向けて日本全体がお祭ムードにそまった昭和39年、ついに三代目京都商工会議所ビルが完成。設計は、二代目ビルの設計者である武田五一氏の孫弟子にあたる富家宏泰氏が手掛けた。

## 三代目京商ビルの見所をご紹介します!!

閉館記念イベント「会議所ビル探訪ツアー」にご参加いただき、  
ぜひとも間近でご覧ください!



二代目ビルの遺構②「暖炉」

3階の特別応接室には、二代目ビルの暖炉が移築されている。暖炉として使用することはできないが、当時の重厚な造りが見て取れる。



二代目ビルの遺構①「大理石柱」

1階の北側玄関ロビーに鎮座するのは、二代目ビルの遺構となる大理石柱。三代目ビル設計者の富家氏が二代目ビル設計者の武田五一氏に敬意を払い残したものである。



十二支のモニュメント

1階中央ロビーの床には、十二支のモニュメントが大理石のモザイクで描かれている。普段は喫茶店フロアとなっており全景を見ることができないが、閉館記念イベント中はテーブル等を撤去しご覧いただける予定。



中央ロビーの照明（シャンデリア）

モザイクによる十二支の真上には、特徴的な照明が。電球色の柔らかく優しい光でロビーを照らしている。



## 記者配布資料②

### 平成30年度 第15回京都・観光文化検定試験 申込状況等について

\* 日時 平成30年12月9日(日) 3級 午前10:00～ / 2級・1級 午後1:30～

\* 会場 同志社大学(新町) 京都学園大学(太秦) 龍谷大学(深草) 青山学院大学(東京都渋谷)  
※中高生チャレンジ 京都商工会議所ほか自校開催中学・高校4校等

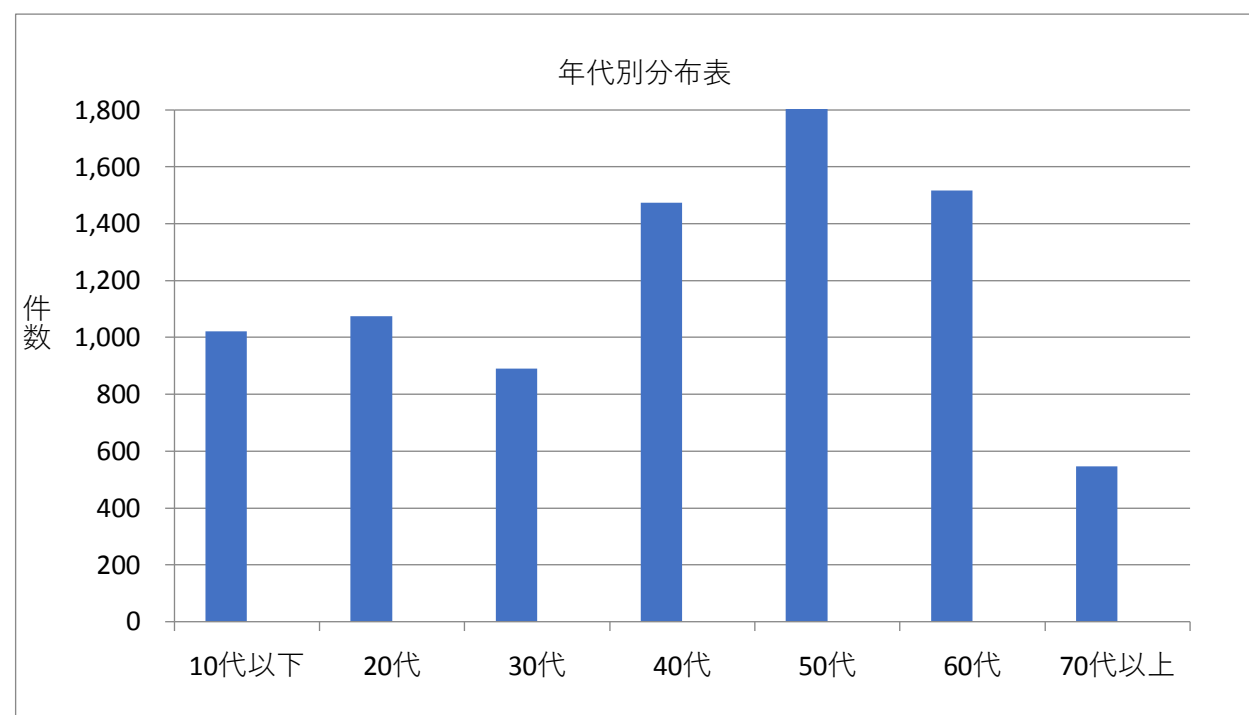
* 申込者数 内訳	第15回			第14回			前年比
	京都	東京	合計	京都	東京	合計	
1級	662	178	840	680	178	858	97.9%
2級	2,357	569	2,926	2,360	570	2,930	99.9%
3級	4,072	583	4,655	3,931	510	4,441	104.8%
合計	7,091	1,330	8,421	6,971	1,258	8,229	102.3%

※内、団体申込者数97件 2,838名  
中高生チャレンジ(3級) 893名+親子受験50名 を含む

\* 男女比率(申込者) 男性 4,841名(57.5%) 女性 3,580名(42.5%)  
昨年度 男性 4,732名(57.5%) 女性 3,497名(42.5%)

\* 年齢別(申込者)

	第15回		第14回	
	件数	割合	件数	割合
10代以下	1,022	12.1%	913	11.1%
20代	1,075	12.8%	1,176	14.3%
30代	891	10.6%	1,000	12.2%
40代	1,474	17.5%	1,422	17.3%
50代	1,896	22.5%	1,820	22.1%
60代	1,516	18.0%	1,434	17.4%
70代以上	547	6.5%	464	5.6%
合計	8,421	100.0%	8,229	100.0%



※最年長— 92歳(男性・1級受験)、最年少— 8歳(女性・3級受験)

\* 上位府県別(申込者)

	第15回		第14回	
	件数	割合	件数	割合
京都府	4,801	57.0%	4,725	57.4%
大阪府	890	10.6%	932	11.3%
東京都	598	7.1%	553	6.7%
滋賀県	382	4.5%	354	4.3%
神奈川県	325	3.9%	312	3.8%
兵庫県	259	3.1%	242	2.9%
愛知県	210	2.5%	174	2.1%
埼玉県	189	2.2%	166	2.0%
千葉県	168	2.0%	144	1.7%
その他	599	7.1%	627	7.6%
合計	8,421	100%	8,229	100%

\* 地区別(申込者)

	第15回		第14回	
	件数	割合	件数	割合
北海道	15	0.18%	14	0.17%
東北	29	0.34%	26	0.32%
関東	1,367	16.23%	1,251	15.20%
北陸	46	0.55%	46	0.56%
中部	387	4.60%	366	4.45%
近畿	6,442	76.50%	6,366	77.36%
中国	51	0.61%	63	0.77%
四国	35	0.42%	30	0.36%
九州	48	0.57%	66	0.80%
沖縄	1	0.01%	1	0.01%
合計	8,421	100.00%	8,229	100.00%

